

シャフト形状・スライドシャフト

ドライバー
カード

ブラシレス

テーパ

ライニング

フリー
ローラ

シャフト形状

技術資料

設計上の
注意

■シャフト形状

標準

六角型シャフト

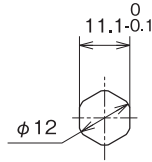
■対応機種：φ48.6・φ50・φ57・φ60.5・テーパ

NOTICE

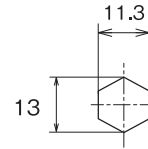
- 標準シャフト以外は別途ご指示ください。
- その他につきましては、お問い合わせください。

▶寸法図

■シャフト寸法

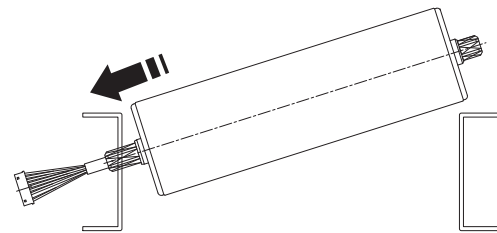
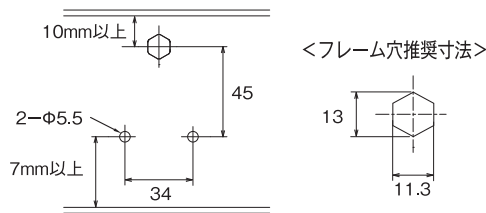


■フレーム穴参考寸法

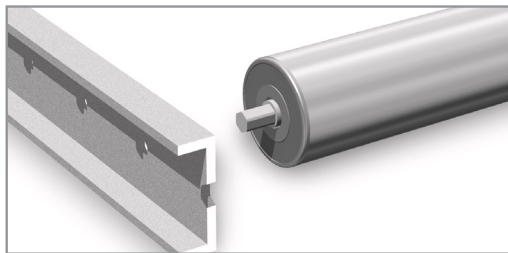


■取付方法について ●コンベヤフレームにパルスローラSENERGYを取り付ける。※取付金具「PR-D-30H-PU」使用の場合

- 1 リード線側のフレームに、下記寸法の穴加工をします。
- 2 パルスローラSENERGYのコネクタ付リード線をフレームの取り付け穴に通してシャフト部をフレームに差し込みます。



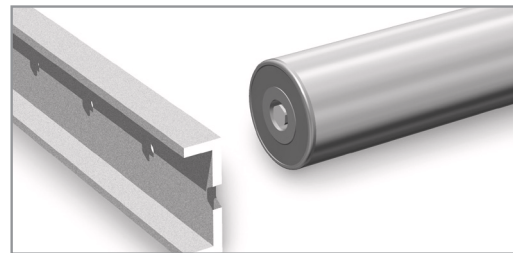
- 3 反リード線側のシャフトをスライドさせてもう一方のコンベヤフレームに差し込みます。スプリングの力によって戻るので、パルスローラSENERGYの着脱はコンベヤフレームを分解する必要はありません。



POINT

■スライドシャフトは図の様に、押すと端面までは入ります。フレームに取付け後は、スプリングの力で元に復帰します。スライドシャフト付パルスローラSENERGYの場合、着脱にはコンベヤフレームを分解する必要はありません。

※φ48.6・50.0は、完全にスライドしません。
(カラー部約4mm程度残ります)

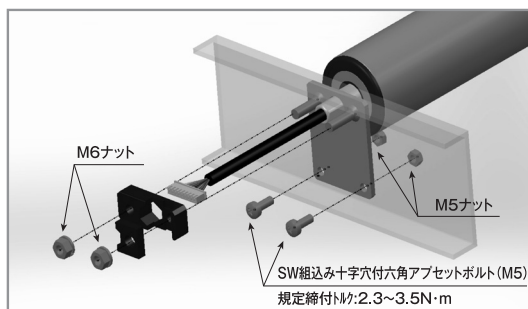


NOTICE

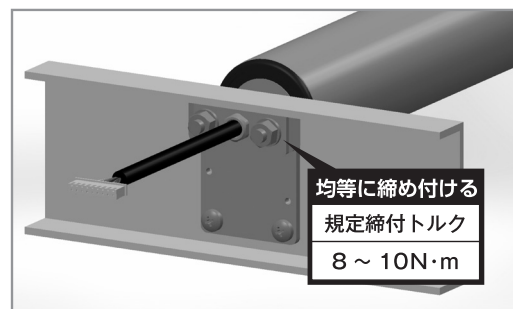
■製作最小ローラ幅によっては、スライドシャフト機構付ではない場合もあります。確認の上ご使用頂きますようお願い致します。

■パルスローラSENERGYをコンベヤに組み込む時、シャフトに競りが発生しないようにしてください。

- 4 固定金具をSW組込み十字穴付六角アプセットボルト(M5)を使用しフレームに取付けパルスローラSENERGYを固定します。規定締付トルク：2.3～3.5N・m
スライド金具は、仮固定してください。
※リード線を傷付けない様にお気を付け下さい。



- 5 固定金具のナット (M6) を左右均等に締め上げます。規定締付トルク：8～10N・m
※締付けが緩いとシャフトが空回りし、リード線断線等の故障の原因となります。



⚠ 注意

- ・コンベヤフレーム又は取付金具にリード線を通す時にリード線を傷付けない様にお気を付けてください。
- ・取付金具は、弊社指定の物を使用し確実に固定してください。